

国際運輸労連（ITF）

第 44 回世界大会

2018 年 10 月 15 日（シンガポール）

船員部会総会

報告書

船員部会総会が 2018 年 10 月 15 日（月）に開催された。

議題 1：議題の採択

議題がそのまま採択された。

議題 2：報告者、投票検査人、投票集計人の選出

トーマス・アブラハムソン（スウェーデン）が報告者に選出された。

カルロス・アウグスト・ムラー（ブラジル）とラウル・センゴ（モザンビーク）が投票検査人に選出された。

レナ・ダイリン（ノルウェー）とアマー・シン・タクール（インド）が投票集計人に選出された。

議題 3：大会テーマ文書

書記長が大会テーマ文書を紹介し、船員部会の優先課題について説明した。大会テーマ文書についての議論の中で、以下の発言がなされた。

- モデル CBA を準備するとともに、自動化について船員に教育することが重要だ。
- 目的は、リスクを認識し、解決策を見出すことだ。
- 自動化は船員の雇用に影響を及ぼすだろうが、近い将来に大勢の船員が影響を被ることはないだろう。
- IMO が現在、自動化の法規制への影響を分析している。

クレオパトラ・ドンビア・ヘンリーと世界海事大学（WMU）のジェン・ウ・シュルダール・ハインリッヒが交通運輸の自動化についてのプレゼンテーションを行った。大会テーマ文書についての議論の中で、以下の発言がなされた。

- 労働運動として、集団で取り組むことが重要だ。
- 自動化後も船員の需要はある。
- 自動化はテクノロジー企業の商品だ。

- 保安や安全の観点から、完全自動化船は一部の内航を除いて実現しないだろう。
- 将来、技術の向上や訓練の重要性が高まる。そのコストを誰が負担するかを明確にする必要がある。
- 海運は、技術革新に最も晒されてきた産業の一つだ。
- 早い段階から政府と関与することが極めて重要だ。
- 交渉なしの自動化を許さないことが重要だ。しかし、同時に、力の弱い組合を支援する必要がある。
- 技術は、女性船員により多くの機会をもたらす可能性がある。
- 自動化で、より高度なコンピューター技術が必要とされるだろう。
- 世界海事大学（WMU）は、適切な技術の獲得を支援するために、各国の教育機関で教えるトレーナーを養成している。
- 自動化政策の策定には明確性が重要だ。

WMU は、プレゼンテーションを行った後、2 件のライブポール（オンラインの会場アンケート）を実施した。

1. 今後、あなたの組合員の雇用は自動化やテクノロジーの影響を受けると感じますか？	
a. いいえ	1%
b. はい。ただし、遠い将来において。	33%
c. はい。間もなく。	34%
d. はい。組合員の仕事は既に変化しています。	31%

2. 自動化のプロセスに組合はどう関与したらよいと感じますか？	
a. 関与しても組合が得るものはない	2%
b. 早い段階から積極的に関与し、政界の意思決定権者と協議する。	31%
c. 新たに必要とされるスキルを開発するための再訓練・教育に着目する。	53%
d. 労働者への影響を減らすための公的支援や補助金に着目する。	7%
e. 正当な意見を主張するために、さらに調査を実施する。	9%

大会テーマ文書がそのまま採択された。

議題 4：活動計画

ITF 海事コーディネーターと ITF 船員部次長が 2019 年～2023 年の活動計画と優先課題について説明した。その後、特にカボタージュや領海および大陸棚における自国籍船員の雇用問題について詳しい議論が行われた。この問題は現在取り組み中で、FOC キャンペーンの活動計画にも盛り込まれているため、10 月 17 日の船員港湾合同総会でさらに議論することとなった。

2019 年～2023 年の船員部会の優先活動が提案通り承認された。

議題 5：動議

決議委員会から付託された以下の動議について議論した。

第 7 号動議：船員のためのビザに関するグローバルな方針の促進

そのまま採択された。

第 11 号動議：船員の権利

そのまま採択された。

第 16 号動議：地中海－便宜の海

そのまま採択された。

第 9 号動議：船員の権利の保護 – 国際連帯の促進 – メキシコシティ・ポリシーの効果的実施の確保

大会後に開催される関連総会あるいは関連会議に本動議を付託するとともに、大会後のプロセスについてシンガポール滞在中に当事者間で合意することを決議委員会が勧告したことを受け、本動議の提案者および修正動議の提案者と船員部会議長との間で協議が行われた結果、以下が確認された。

第 44 回世界大会時に開催された船員総会は、メキシコシティ・ポリシーの見直し（自国籍船ポリシーやカボタージュ・ポリシーを含む）を検討する作業グループの設置を勧告し、第 44 回世界大会時に開催される船員港湾合同総会で承認を求める。

この作業グループの付託事項は、書記局が加盟組合の意見を考慮しながら共同議長と相談して作成し、次回公正慣行委員会運営委員会（FPCSG）に提案し、メキシコシティ・ポリシーの改定案は第 45 回世界大会で承認を求める。

この提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

第 17 号動議：労働組合員の利益を代表する目的で、国内の労働組合の対話を通じた二国間関係を促進する

第 9 号動議に関する提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

第 21 号動議：カボタージュ

第 9 号動議に関する提案を基に、本動議は撤回され、メキシコシティ・ポリシーの見直しの一環として検討されることとなった。

第 32 号動議：内航海運支援のための措置

本動議の趣旨が確認され、大会後に開催される次回船員総会に付託するという決議委員会の勧告が承認された。

第 14 号動議：ITF 世界大会 CGT 提案動議

本動議は FOC キャンペーンに関係しているため、10 月 17 日の船員港湾合同総会に付託することが承認された。

第 5 号緊急動議：ノルウェー人船員の雇用に対する攻撃

そのまま採択された。

議題 6：選挙

以下の役員が選出された。

議長	Dave Heindel (SIU、米国)
第一副議長	Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)
第二副議長	Mark Dickinson (NI、英国)
女性代表	Lena Dyring (NSU、ノルウェー)
青年代表	Dorotea Zec (SUC、クロアチア)

議案書に記載されている地域の役員について、書記局が当該地域の加盟組合に確認することが任命され、船員部会委員会の構成が別紙 1 の通り承認された。

議題 7：その他

金バッチ

時間に限りがあるため、本件は、10 月 17 日の船員港湾合同総会で取り扱うことが合意された。

船員部会委員会

2018年10月15日現在

役員	
議長	Dave Heindel (SIU、米国)
第一副議長	Conrad Oca (AMOSUP、フィリピン)
第二副議長	Mark Dickinson (NI、英国)
女性代表	Lena Dyring (NSU、ノルウェー)
青年代表	Dorotea Zec (SUC、クロアチア)
アフリカ地域	
議長	Adewale Adeyanju (MWUN、ナイジェリア)
副議長	Innocent Gouanfo (SYNIMAC、カメルーン)
副議長	Stephen Owaki (SUK、ケニア)
アラブ地域	
議長	Nermin Al Sharif (GFLTU、リビア)
副議長	Seddik Berrama (FNNT/UGTA、アルジェリア)
アジア太平洋地域	
議長	森田保己 (全日本海員組合、日本)
副議長 (東南アジア)	Thomas Tay (SMOU、シンガポール)
副議長 (東南アジア)	Abdulgani Serang (NUSI、インド)
副議長 (太平洋)	空席
欧州地域 (ETF 海運部会)	
議長	Agis Tselentis (PNO、ギリシャ)
副議長	Jacek Cegielski (NSZZ、ポーランド)
副議長	Yuri Sukhorukov (SUR、ロシア)
アドバイザー	Mark Dickinson (NI、英国)
アドバイザー	Kenny Reinhold (SEKO、スウェーデン)
アドバイザー	Francesco di Fiore (FIT-CISL、イタリア)
アドバイザー	Maya Schwiegershausen-Güth (Verdi、ドイツ)
中南米・カリブ地域	
議長	Severino Almeida (CONTTMAF、ブラジル)
副議長	Horacio Dominguez (CJOMN、アルゼンチン)
副議長	Julia Liliana Becerra (CCUOMM、アルゼンチン)
副議長 (カリブ地域)	Michael Anisette (SWWTU、トリニダード・トバゴ)

北米	
議長	James Given (SIU、カナダ)
副議長	Mike Murphy (AMO、米国)
副議長	Marshal Ainley (MEBA、米国)